

自ら快適な環境づくりができる生徒の育成

～生徒が主体となる環境衛生活動を目指して～

岐阜県立長良高等学校

1 学校紹介

本校は、岐阜市の北部に位置し、鶺鴒で知られる清流長良川が近くを流れ、岐阜城を仰ぎ見る金華山のふもとにある。

また近隣には、小学校や中学校があり、自然環境に囲まれた文教地区に位置する、創立 70 周年を迎える進学校である。

生徒数 1,159 名の大規模校であり、校訓「開拓者の気魄で勉学とスポーツにあたれ 礼儀正しくあれ」のもと、文武両道を目指し、生徒たちは日々勉学と部活動に励んでいる。



2 学校経営方針と健康づくり

(1) 学校教育目標及び教育計画への健康づくりの位置付け

校訓 開拓者の気魄で勉学とスポーツにあたれ 礼儀正しくあれ

《目指す生徒像》

知育：自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を発揮できる生徒

徳育：社会生活を営む上での礼節をわきまえ、他を思いやる豊かな心を持つ生徒

体育：健康の保持増進に努め、たくましく生き抜く力を備えた生徒

(2) 健康づくりをよりよく実践するための配慮事項

- ・健康の保持増進の観点から、健康や安全について日常生活に密着した指導を行い、生徒自らが健康で安全な生活を営む能力や態度の育成を図る。
- ・環境整備の観点から、日常の清掃活動を通して、生徒に快適な環境づくりの重要性を認識させ、その啓発を図る。

3 健康づくりに関する計画

(1) 学校保健計画（教育・管理）作成に当たっての配慮事項

本校は、校訓にもあるように文武両道を目指し、生涯にわたり、自分自身で健康で安全な生活を営むことができるように、健康管理能力の育成に力を入れている。例えば、健康診断ではその意義と必要性について、事前指導を重視している他、保健室に来室し

た生徒には、自分自身の生活の振り返りから、健康問題の把握と解決への支援を行っている。また学校保健目標を実現するため、次の3点も重視し、継続したきめ細かい活動が確実にできるように、計画を立案している。

① 薬物乱用防止教育

薬物乱用防止教育においては、近年の高校生による薬物使用が問題となっていることを受け、全学年を対象に薬物乱用防止講話を学校保健計画に位置付け、卒業後の生活を見据えた幅広い講話を学校薬剤師が行っている。

その他に喫煙、飲酒、医薬品の正しい使い方の講話も実施している。



【薬物乱用防止講話】

② 救急法講習

救急法講習においては、毎年、生徒と職員を対象とした講習会を行っている。

・生徒対象

消防署職員による講習を1年生保健委員及び部活動代表者(体育系・文化系)を対象に実施している。

3時間しっかりと実習することで、実践力をつけることができ、救急時、率先して動くことができる生徒の育成を目指している。



【生徒対象救急法講習】

・職員対象

消防署職員による講習を、毎年、全職員対象に行っている。全員が心肺蘇生法やAED操作を実際に行うことで、誰もが救急時に対応できる力が、身につくことを目指している。



【職員対象救急法講習】

③ 環境衛生活動

本校では、特に環境衛生に力を入れ取り組んでいる。活動を学校保健計画に位置付け実施するとともに、生徒自らが快適な環境づくりの重要性を認識し、環境改善ができる姿を目指し、生徒の自主的な活動を学校全体で支援している。

これは20年近くにわたり、本校で大切にして継続してきたことであり、学校全体に根付いている。今後もより一層の意識の定着と向上を目指して、努力していきたい。

(2) 学校安全計画(教育・管理)作成に当たっての配慮事項

学校安全計画は、学校安全に関する総合的な計画であり、確実に実施できるように、計画を立案している。その中でも本校では、特に防災、施設・設備の安全点検に力を入れて取り組んでいる。

防災に関しては、平成 28 年度から命を守る訓練の実施回数を増やし、シェイクアウトも毎月 11 日に実施することで、いざという時に自分の命を守ることができるよう訓練の充実を図っている。訓練では、毎回災害発生の設定を変えている。学校生活のあらゆる場面を想定し、それに合わせた避難経路や情報収集、伝達方法も変えることで、いかなる場面でも対応できるよう訓練している。また、一人ひとりの防災の意識の向上や備蓄品の点検にも力点を置いている。

施設・設備の安全点検については、点検実施と是正措置、記録の徹底を図ることで、より安全な学校環境づくりを確実に行うようにしている。

このように安全に関する活動の確実な実施と、いざという時に対応することができる能力の育成を目指して実施している。



【シェイクアウト】

4 特徴的な取組：快適で安全な環境づくりの推進

平成 6 年度から、岐阜県学校保健会による学校環境衛生活動優良校審査において各賞を受賞しており、特に平成 13 年度からは、優良校と特選校を継続して受賞している。

近年では、生徒自らが教室等の環境調査や清掃活動等も行い、自分たちの環境をより良くしていこうとする自主的な活動が生まれ、それを学校全体で支援している。

(1) 校内組織間の連携強化：学校薬剤師との密な連携、学校全体で結果検討、事後処置の徹底

定期検査は、学校薬剤師が確実に実施し、検査結果は全職員で共有している。その上で是正が必要な場合は、校内の各組織と連携し、迅速かつ適切に対応し改善を図っている。また年度末にはその年度の活動状況を振り返り、次年度に反映している。

(2) 事故の未然防止：安全点検の実施と確実な是正処置の実施

毎月 15 日に、職員が各担当場所を場所ごとに詳しく定められた点検項目に従い、点検を実施している。点検結果は、事務部や管理職に速やかに回覧し、必要に応じて是正措置を講じている。また対応結果（事後措置）についても、確実に記録している。

平成29年度 9月分 安全点検結果:危険・不良箇所等報告書									
検査場所		検査日		検査者		検査結果		事後措置	
校舎	教室	校舎	教室	検査項目	検査結果	検査項目	検査結果	検査項目	検査結果
1-1教室	2階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	応急処置	
5-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	修繕済	
2-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	清掃	
3-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	清掃	
4-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	清掃	
5-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	清掃	
6-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	清掃	
7-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	清掃	
8-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	清掃	
9-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	清掃	
10-1教室	1階	2019年9月15日	2019年9月15日	廊下	10/10	清掃	10/10	清掃	

【安全点検事後措置の記録】

(3) 生徒の自主的な活動：生徒会中心の環境衛生活動（保健委員以外）

本校では、生徒会執行部や様々な部活動が校内清掃やエコボックスの制作など、自主的な環境衛生活動を行っている。

例えば、生徒会執行部は、校内で生徒のボランティアを募り、校舎内清掃活動を行っている。この活動には、約 50 名のボランティア生徒が参加し、自分たちの校舎を「自らの手できれいにしよう」とする積極的な姿が見られる。



【生徒会執行部主催の生徒によるボランティア活動】

(4) 生徒の自主的な活動（生徒保健委員会）

平成 25 年度：教室の空気の測定

本校では、暖房器具は灯油ストーブを使用しているために、暖房時の教室内の温度差、空気の悪さを生徒が感じ、生徒自らが教室の空気の改善に取り組んだ。対策として、学校薬剤師と相談し、生徒自らが実際に教室内の空気（二酸化炭素濃度や気温）を測定し、換気の必要性を実感した。

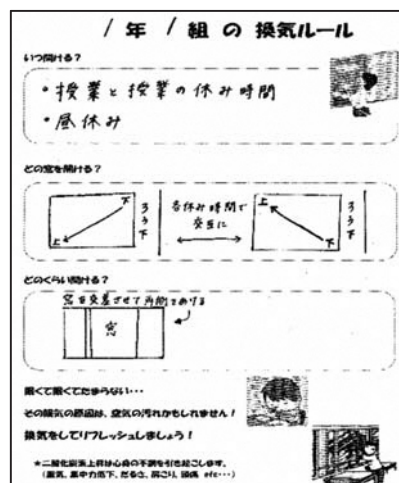
平成 26 年度：教室の空気測定及び考察

平成 25 年度の空気測定から学んだ換気の必要性を踏まえて、各クラスにおける二酸化炭素濃度と換気状況、体感の実態調査を実施した。

換気が十分にされているクラスとそうでないクラスの相違が、二酸化炭素濃度結果に現れたため、より有効な換気方法の検討と実践の必要性を感じた。

平成 27 年度：効果的な換気方法の実験と実行可能な換気ルール考案

効果的な換気方法を見出すために、教室模型と線香を使用し、教室内空気の流れを再現した換気実験を実施した。その結果を踏まえ、各クラスで効率的かつ実行可能な換気ルールを考え設定した。実験により、窓の開け方によって、換気効率が違うことが分かったため、暖房効率を維持しつつ、効果的な換気を行う方法を生徒自らが考えることができた。



【各クラスに応じた換気ルール】



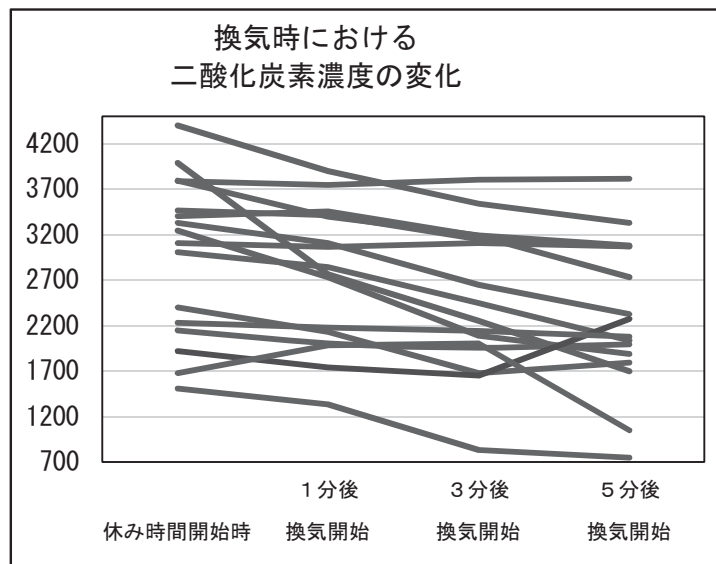
【教室模型：正面（左）、側面（右）】

箱の中に線香を立て、煙を空気の汚れに見立て実験を行う。両側面には窓を8か所設け、窓の開け方により、換気効率が変化することが観察できる。

平成 28 年度：効果的な換気の実証

各クラスに、平成 27 年度の換気実験で考案した効率的な換気方法で換気前、換気 1 分、3 分、5 分後の二酸化炭素濃度の推移を測定し、体感も交えて表にまとめた。

短時間でも効率的な換気ができることが分かり、換気効果を実証できた。



【生徒の声】

- ・窓を開けたら頭がすっきりして、集中力が上がった！
- ・たったの5分間、少し窓開けるだけで、あれだけ空気がきれいになるなら、換気しようかな。
- ・少し開けただけですごい濃度が下がってびっくりした！



【生徒による教室の空気測定】

(5) これまでの換気活動の成果と今後の活動

① これまでの換気活動の成果

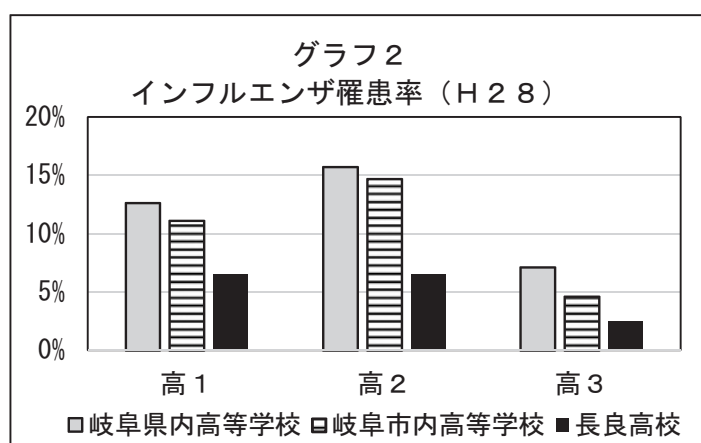
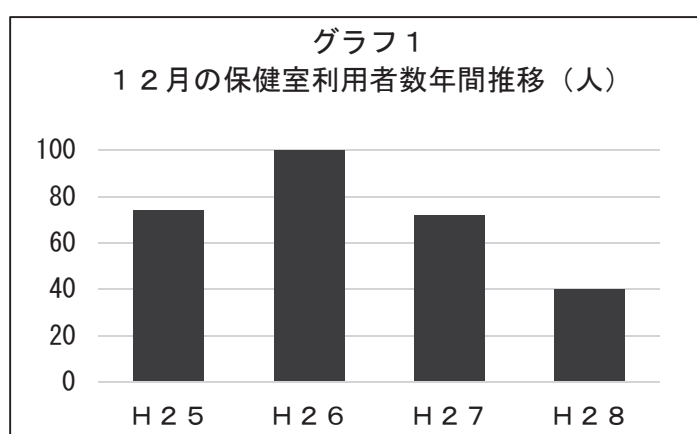
ストーブ使用時期である 12 月の保健室来室者数は、換気活動に取り組み始めてから減少傾向にある（グラフ 1）。また、冬期の換気活動の集大成である平成 28 年度のインフルエンザ罹患率は、県内及び市内の高等学校と比べ、約半数の罹患率であり、換

気活動の一定の効果が出ていると考えられる（グラフ2）。

生徒の声からも、換気効果の実感や、意識の高まりがみられ、効率的で実現可能な換気方法の確立及び生徒・職員の換気に対する意識の定着を図ることができた。

② 今後の課題

エアコン（冷房用）の使用に伴い、教室内の温度の均一化を図るために扇風機を使用している。しかし、同じ教室の生徒から寒すぎる、暑いなどの相談が出た。そこで、生徒対象にエアコン使用時の教室内の環境についてアンケートを実施したところ、教室内の温度差だけでなく、空気の汚れを感じている生徒も多いことが分かった。そこで今後は、暖房使用時と同様に、冷房使用時の教室内の環境改善についても取り組んでいきたいと考えている。



【生徒及び職員の声】

- ・換気を心掛けたら、私たちのクラスだけインフルエンザが全く流行らなかった。（3年女子）
- ・開け方を工夫すると、少し開けただけでも空気が入れ替わって、頭がすっきりした。（1年女子）
- ・換気はやっぱり寒いけど、この窓の開け方なら何とか続けていけそう。（2年男子）
- ・生徒の換気への取組を知り、授業のはじめに換気をするようにした。（職員）